

令和4年度 社会福祉法人南砺市社会福祉協議会 事業計画

急速な少子高齢化や人生100年時代の到来など、社会構造が変化する中、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがいをともに創っていく「地域共生社会」の実現が重要です。

しかし実際には、家族と疎遠なために福祉サービスにつながりにくい人や、社会との関係が希薄な人、支援を求めようとならない人など、生きづらさを抱えていても見落とされてしまう問題があります。また、新型コロナウイルス感染症が発生してから2年以上が経ち、その影響で生活に困窮している人もおられます。

近年は、複合的な課題をもつ世帯も増えており、市の包括的支援体制とともに、関係機関と連携しながら本会の役割を果たしてまいります。

昨年度は、本会の組織体制の再編に着手し、地域福祉課の職員を東西2拠点に集結し、8地域の支所を廃止としました。本年7月には、本所を東の事務所に移転して、西のサテライトと2拠点とし、組織をコンパクトにまとめ、スピーディな相談と意思決定ができる体制といたします。相談援助技術の研修や、職員同士の相談体制を強化し、個別支援と地域支援を行う職員の育成に努めてまいります。

令和4年度は、第3次南砺市地域福祉活動計画の5年目（最終年度）となり、次期計画を策定する年でもあります。第4次計画では、市の地域福祉計画や31地区の福祉活動計画と連携した内容を取り入れ、市全体で地域福祉の推進に積極的に取り組んでまいります。

(重点取り組み)

【第3次南砺市地域福祉活動計画 実施5年目】

【1】社会・地域福祉活動への参加の促進

- ・だれでも型サロンや、週1回の運動中心型サロンの普及に努め、地域のつながりをつくりまします。
- ・第4次南砺市地域福祉活動計画（令和5年度～令和9年度）の策定を通して、暮らし続けたい未来像を話し合います。

【2】生活支援の充実

- ・生活支援コーディネーター活動事業を受託し、地域住民と協働して、個別支援と地域のネットワークづくりに努めます。
- ・職員の地域担当チームで、アウトリーチ（地域に出向いていくこと）を徹底し、積極的に情報入手し、定期的な訪問や同行支援等を行います。
- ・生活に困窮する人に対し、市の生活困窮者自立支援事業と連携して、生活福祉資金貸付事業や、生活困窮者支援給付事業、寄附食品の配布などの支援を行います。

【3】情報提供と相談窓口の充実

- ・相続についての相談が多いことから、司法書士による相続相談を増設します。
- ・心配ごと相談を4会場で実施し、広報による周知を行います。
- ・休日に相談できる場や、外国人が悩みを相談できる場をつくりまします。

【4】地域で支えあう仕組みづくり

- ・ケアネット活動を市全体でさらに進めます。地域住民や関係機関、専門職による、事例検討や協議の場を設け、対応事例を積み重ねていきます。
- ・ケアネット活動協力企業との情報交換など、さまざまな組織とのネットワークをつくりまします。
- ・有償ボランティアによるごみ出し支援活動をモデル事業として助成支援します。

1 法人運営部門

1 法人運営事業

予算額	4年度	43,745千円	3年度	60,458千円	増減	△16,663千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	-----------

- (1) **本所、サテライトの運営管理**
事務所を管理運営するとともに、本所事務所の移転計画を進める。
車両9台を維持管理する。
- (2) **理事会の開催（年4回程度）**
業務執行上の事項及び当面する課題について協議する。
- (3) **評議員会の開催（年3回程度）**
業務執行上の重要事項について審議、決定する。
- (4) **評議員選任・解任委員会の開催**
理事会の推薦を受けて評議員の選任及び解任について審議、決定する。
- (5) **監査会の開催（年4回）**
運営管理、事業の執行状況及び財産の状況についての監査をする。
- (6) **役員等研修の実施**
法人運営や地域福祉事業への理解を深めるため社会福祉協議会役員研修を実施する。
- (7) **社会福祉法人地域公益活動推進事業**
市内の8社会福祉法人が連携して情報交換し、公益的な活動を効果的に実施する。
- (8) **南砺市社会福祉大会の開催**
式典において、永年にわたり福祉活動に尽力された方を表彰する。
開催日：令和4年11月上旬
会場：南砺市城端伝統芸能会館「じょうはな座」
- (9) **表彰選考委員会の開催（年1回）**
被表彰候補者推薦書により審査を行い、市社協会長表彰被表彰者を決定する。
- (10) **指定管理者業務に伴う事務の適正管理**
平デイサービスセンター、上平デイサービスセンター、利賀デイサービスセンター、五箇山ホームヘルプステーション、平生活支援ハウスの指定管理を受ける。[期間:H29.4.1~R6.3.31]
- (11) **職員研修体制の充実**
よりよい支援やサービス提供を行うため、また、組織内の課題を共有し解決を図るための内部研修を開催する。外部研修への参加により職員の資質向上を図る。
- (12) **実習指導者の育成**
福祉系大学や社会福祉士養成施設から受け入れる実習生に対して、相談援助指導資格をもつ職員を確保するため、実習指導者講習会の受講を進める。
- (13) **苦情解決体制**
苦情受付及び解決に向け適切に対応するための体制を整え、第三者委員3名を設置し、報告相談等の連携を図る。
- (14) **ホームページの刷新、情報発信**
情報発信の手段のひとつとして、住民が求める情報や必要な情報を迅速に提供し、住民誰もが参加でき、分かりやすく使いやすい情報媒体としてホームページを整える。
- (15) **経営基盤の強化**
住民や市内企業等へ社会福祉協議会会員加入及び会費納入を依頼する。
会費は、地域福祉活動に活用し、事業及び会費への理解が得られるよう、使途を周知する。
- (16) **職員5名の人件費**

2 委員会活動事業

予算額	4年度	1,435千円	3年度	339千円	増減	1,096千円
-----	-----	---------	-----	-------	----	---------

(1) 【新】第4次南砺市地域福祉活動計画策定委員会の開催(年3回) ※補足資料参照
第3次地域福祉活動計画を評価・検証し、次期計画を策定する委員会を開催する。

(2) 第4次南砺市地域福祉活動計画冊子の発行

3 基金運営事業

予算額	4年度	3,380円	3年度	3,370千円	増減	10千円
-----	-----	--------	-----	---------	----	------

(1) 地域福祉振興積立金の管理
地域づくり協議会等へ助成するための取崩、及び事業収益の積立。

4 退職手当積立事業

予算額	4年度	9,743千円	3年度	16,100千円	増減	△6,357千円
-----	-----	---------	-----	----------	----	----------

(1) 全国社会福祉団体職員退職手当基金
職員27名の加入。

2 地域福祉推進部門

5 地域総合福祉活動推進事業

予算額	4年度	43,606千円	3年度	39,266千円	増減	4,340千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	---------

(1) 地域総合福祉推進事業（ケアネット型）助成

要支援者に対する見守りなどの活動費や、活動者や地域住民を対象とした研修会等の経費として、31地区の地域づくり協議会へ上限25万円を助成する。

(2) ケアネットセンター運営事業

ケアネット活動を実施する地域づくり協議会を支援するため、ケアネットセンターを設置。ケアネット活動コーディネーター1名のほか、地域担当のコミュニティーソーシャルワーカーを配置。地域住民へのケアネット事業の周知活動や、支援を必要とする方の相談に対して地域住民や専門職を交えたケース会議を企画し、在宅生活を支援していく。

ケアネット活動協力企業の募集を継続し、新たに登録を希望する企業が増えるよう取り組む。また、協力企業と情報交換を行いながら、つながりを強化する。

(3) ケアネット活動推進連絡会の開催

ケアネット活動の円滑な実施と改善を図るために連絡会を開催する。また、福祉関係団体や協力企業とのネットワークづくりをねらいとする。

(4) 第3次南砺市地域福祉活動計画（5年目）の推進

住民参加による地域づくりを計画的に推進する。

(5) 地域づくり協議会への対応

職員によるチーム制で市関係課と連携しながら、担当地区の活動支援や事務局との連絡を密に実施する。

(6) ふくし出前講座の開催

福祉活動への理解と協力を得るため、社協事業の出前講座を地域づくり協議会や自治会、サロン等へ年間を通して実施する。

社協事業を含めた関係機関の出前講座を一覧にまとめ、関係団体へ周知する。

(7) 職員6名の人件費（ケアネット活動コーディネーター1名を含む）

6 地域福祉ネットワーク事業 【市受託事業】

予算額	4年度	5,896千円	3年度	6,287千円	増減	△391千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	--------

(1) 支え合いマップづくり

地域住民がご近所の要支援者や地域課題、社会資源を住宅地図に書くことで把握し、住民同士の支え合いの仕組みづくりと地域のつながりを強化する。

新規に実施する地域の支援の他に、これまで実施した地区へのフォローアップを行う。また、地区ごとでマップを更新できるよう、手法や手順を地域住民と共有する。

(2) 食品無料配布会

フードドライブを実施する団体から食品が届いた時に、生活困窮者や必要な方へ食品無料配布会を実施する。

(3) いのちのバトン

救急医療情報キット「いのちのバトン」の目的や内容を周知するとともに、救急医療情報用紙を全戸配布し医療情報の更新を進める。

(4) 職員1名の人件費

7 総合相談所運営事業 【市受託事業】

予算額	4年度	916千円	3年度	922千円	増減	△6千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	------

(1) ふくし総合相談センターの設置

市民の相談を総合的に受ける窓口を設置し、職員が随時対応する。また、専門機関とも連携し、相談内容の解決に努める。

相談カレンダーを作成し、市民への周知を図る。

(2) 心配ごと相談・法律相談・相続相談の開催

心配ごと相談員による心配ごと相談（4地域 年間36回）、弁護士による法律相談（月1回）、司法書士による相続相談（年3回）を開催する。

(3) 心配ごと相談員研修の開催

心配ごと相談員の知識向上やスキルアップのため、研修会を行う。

8 障害者社会参加事業 【市受託事業】

予算額	4年度	211千円	3年度	184千円	増減	27千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	------

(1) 障害者社会参加支援事業

在宅障がい者を対象に閉じこもりの予防と社会生活力の向上を図るため、交流会を行う。

(2) 障害者理解促進研修・啓発事業

障がいへの理解を深め、障がい者を支援する人材を育成するための講座を開催する。

(3) ドリンクサービス事業

市内の障がい者施設の方を対象に、地域で行われるサロンや会議においてコーヒー等を出す機会を提供することで社会参加の促進を図る。また、地域住民の障がい者理解を深める。

9 福祉入門教室 【市受託事業】

予算額	4年度	521千円	3年度	531千円	増減	△10千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	-------

(1) 手話奉仕員養成講習会〔基礎編 全25回〕の開催

聴覚障がいへの理解を深め、手話を用いて日常会話ができるようになることを目指し、手話奉仕員養成講習会基礎編の講習会を実施する。講師はろう者や手話通訳者など。

※南砺市井波総合文化センター（株式会社ホクタテ高岡支社）へ業務委託する。

10 地区福祉活動助成事業

予算額	4年度	5,260千円	3年度	5,260千円	増減	0千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-----

(1) 地区福祉活動助成

社協会費と地域福祉振興積立金を活用し、31地区の地域づくり協議会が行う地域福祉活動へ助成する。

11 ボランティア助成事業

予算額	4年度	900千円	3年度	900千円	増減	0千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	-----

(1) ボランティア活動団体へ助成

ボランティアグループへ活動費として上限3万円を助成する。また、会員以外を対象とする事業を開催する場合に助成する。助成総額は40万円。

(2) 市ボランティア連絡協議会へ助成

市ボランティア連絡協議会の活動費として助成する。

12 各団体助成事業

予算額	4年度	1,215千円	3年度	1,215千円	増減	0千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-----

(1) 各種団体活動へ助成

南砺市遺族会	738千円	
南砺市遺族会福光支部	140千円	
井波招魂社奉賛会	151千円	
南砺市老人クラブ連合会	186千円	(総額1,215千円)

13 高齢者交流サロン事業 【市受託事業】

予算額	4年度	6,750千円	3年度	5,692千円	増減	1,058千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	---------

(1) 高齢者交流サロン事業の実施

地域の身近な場所で、参加者相互の交流を通し、介護予防と健康増進を図る。また、地域の中でのふれあいや助け合い推進の拡大をねらう。

- ①集落や地区単位で実施しているサロン団体へ助成と相談、活動支援を行う。
- ②サロンのお世話方を対象にサロン研修会を実施し、活動内容の情報提供などを行う。
- ③サロン活動機材の貸出整備と周知を図る。

14 高齢者生きがい対策事業 【市受託事業】

予算額	4年度	537千円	3年度	583千円	増減	△50千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	-------

(1) スポーツ教室等委託事業

井波、井口、福野、福光の4地域で実施。スポーツや娯楽を通して健康づくりや、生きがいを持って元気な生活を送ることを目的に実施する。

15 高齢者相談対策事業 【市受託事業】

予算額	4年度	4,359千円	3年度	3,993千円	増減	366千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-------

(1) 【強】生活支援コーディネーター活動事業の受託 ※補足資料参照

生活支援コーディネーターを5名配置し、第2層圏域でのネットワークや既存の取り組みを活用しながら地域の支援ニーズとサービスをつなぐ等のコーディネート業務を実施する。

(2) 高齢者の総合相談窓口業務、実態把握事業の受託

市地域包括支援センターからの依頼により、高齢者の自宅へ訪問し、実態把握調査を行う。また、相談を受けたケースについて包括システムへ入力し、関係機関との情報共有を図る。

(3) 【新】ごみ出し支援モデル事業 ※補足資料参照

自宅からごみ集積所まで距離があることや身体機能の低下によって、ごみ出しが困難になった世帯に対し、地域住民が有償ボランティアでごみ出し支援を行う地区へ助成する。

16 ボランティアセンター運営事業

予算額	4年度	830千円	3年度	1,132千円	増減	△302千円
-----	-----	-------	-----	---------	----	--------

(1) ボランティアセンターの運営

- ①ボランティアセンター運営委員会を設置し、関連事業について意見交換を行う。
- ②ボランティアセンター登録、ボランティア保険の加入受付等の手続きのほか、ボランティア活動のコーディネートや助成金申請等の相談支援を行う。
- ③ホームページ、ブログ等を活用した情報発信に努める。

(2) 福祉教育の推進、ボランティア活動参加の促進

- ①児童・生徒および家族を対象に、ふくし・ボランティア体験講座を開催する。
- ②福祉教育・ボランティアを担当する教職員を対象に研修会を開催する。
- ③働く世代の福祉活動に対する関心が高められるよう福祉教育プログラムを検討する。

(3) 災害救援ボランティア活動の推進

- ①有事の際に迅速な対応ができるよう、災害救援ボランティアセンター運営マニュアルを見直す。
- ②地域づくり協議会や商工会、企業等へ呼び掛け、災害救援ボランティアセンターの役割、運営方法について学び、センターの立ち上げ訓練を実施する。

(4) ボランティア受入れ施設との連携強化

- ①ボランティアを受け入れている施設の相談支援をする。
- ②施設職員を対象にボランティア受入れ研修会を開催し、研修・情報交換を行う。

17 ボランティアコーディネーター設置事業

予算額	4年度	19,570千円	3年度	18,845千円	増減	725千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	-------

(1) ボランティアコーディネーターの設置

職員4名をボランティアコーディネーターとして設置し、ボランティア活動の推進を図る。

18 児童生徒のボランティア活動普及事業

予算額	4年度	950千円	3年度	950千円	増減	0千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	-----

(1) 児童・生徒のボランティア活動普及事業

市内の小中学校、高等学校、支援学校（全19校）を福祉教育推進校とし、ボランティア活動普及のための補助金を交付する。

19 共同募金配分事業

予算額	4年度	4,890千円	3年度	5,982千円	増減	△1,092千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	----------

(1) 広報紙の発行

社協の事業や地域の福祉活動、ボランティア情報などを地域の方へ広く伝えるため、隔月で広報紙を発行し、全戸配布する。

(2) だれでもサロン支援事業の実施

年齢や性別、障がいの有無に関わらず、地域の身近な場所で誰もが気軽に集える居場所づくりを取り組む団体に対して助成し、活動支援を行う。

(3) 【新】外国人支援事業 ※補足資料参照

在住外国人の地域や家庭での孤立解消を目的とした居場所づくりを実施する。

(4) 憩いのステーション 縁の木

地域で孤立している方の日中の居場所づくりを目的として定期的に開設。参加者のペースで過ごせる居場所を提供し、社会参加のきっかけを作る。

また、職員が常駐し、誰でも立ち寄り、悩みを相談できる場所としても開放する。

(5) 8障害者社会参加促進事業へ繰出し（ドリンクサービス事業）

20 生活困窮者自立支援事業

予算額	4年度	6,600千円	3年度	6,252千円	増減	348千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	-------

(1) 家計改善支援事業の受託

関係機関と連携し、生活困窮者の家計収支等に関する課題の評価、分析を行い、状況に応じた家計再生プランを作成する。また、滞納の解消や各種給付制度等の利用に向けた支援、債務整理に関する支援、貸付の斡旋等を行う。

(2) 生活困窮者支援給付事業

生活に困窮している世帯を対象に、相談支援を行い、状況に応じて必要な金品を給付する。また、関係機関と連携し、対象世帯の自立や安定した生活に向けて、継続的に支援する。

(3) 職員1名（相談支援員として市へ派遣）の person 費

21 日常生活自立支援事業 【県社協受託事業】

予算額	4年度	18,308千円	3年度	19,455千円	増減	△1,147千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	----------

(1) 日常生活自立支援事業の受託

高齢や障がい等により福祉サービスの利用手続きや日常的な金銭管理をひとりの判断で行うことに不安のある方に対して、生活支援員が定期的に訪問し、日常生活上の様々な手続きや金銭管理等の支援を行う。また、専門員を配置し、利用希望者に対する早期の相談支援、困難事例への対応強化を図る。

- (2) 職員の事例検討会の開催
- (3) 南砺市生活支援員登録者研修会の開催
- (4) 職員3名(専門員)の人件費

2 2 生活福祉資金貸付事務事業【県社協受託事業】

予算額	4年度	423千円	3年度	493千円	増減	△70千円
-----	-----	-------	-----	-------	----	-------

(1) 県社協生活福祉資金の貸付事務

生活困窮世帯、低所得世帯、障がい者または高齢者の属する世帯に対し、県社協への資金の貸付手続きと、自立のために必要な相談支援を行う。

2 3 小口資金貸付事業

予算額	4年度	35千円	3年度	35千円	増減	0千円
-----	-----	------	-----	------	----	-----

(1) 市生活支援資金貸付事業償還事務

本事業の利用者に対し償還を働きかける。併せて、経済的な自立と生活の安定を図るための相談支援を行う。

3 福祉センター等運営部門

24 福野老人福祉センター運営事業

予算額	4年度	16,813千円	3年度	14,872千円	増減	1,941千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	---------

(1) 福野老人福祉センター「さつき荘」の運営

入浴施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として、福祉センターを管理運営する。

(2) 利用しやすく親しみのある施設運営の取組み

カラオケや囲碁将棋、軽体操のほか、新たに脳トレ事業を取り入れ利用促進を図る。

(3) 職員2名の人件費

施設長1名、施設管理員1名

25 福光老人福祉センター運営事業

予算額	4年度	22,209千円	3年度	22,756千円	増減	△547千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	--------

(1) 福光老人福祉センター「福光温泉」の運営

温泉施設を有する高齢者の憩いと健康増進を図る場として、福祉センターを管理運営する。

(2) 利用しやすく親しみのある施設運営の取組み

施設の一部を食堂に賃貸し、集客につながるよう施設活用を図る。

福祉団体の入浴料及び休憩料の団体割引制度を実施し、福祉活動の場として活用を図る。

有料個室を2階から1階に変更し、利用者の安全確保及び利用促進を図る。

(3) 職員3名の人件費

施設長1名、施設管理員2名

26 井波社会福祉センター運営事業

予算額	4年度	11,227千円	3年度	10,850千円	増減	377千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	-------

(1) 井波社会福祉センターの運営

各種団体の会合・趣味の場として、福祉センターを管理運営する。

(2) 利用しやすく親しみのある施設運営の取組み

若年層を含む地域の方が、気軽に集える交流の場を提案・提供する。

利用者の要望や感想等の声に耳を傾けるとともに、各種団体へ利用促進を働きかける。

(3) 職員2名の人件費

施設長1名、施設管理員1名

27 井口社会福祉センター運営事業

予算額	4年度	3,227千円	3年度	3,516千円	増減	△289千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	--------

(1) 井口社会福祉センターの運営

各種団体の会合・趣味の場として、福祉センターを管理運営する。

※井口地域づくり協議会へ管理運営業務を委託する。

28 すぱーく福野運営事業

予算額	4年度	1,749千円	3年度	4,758千円	増減	△3,009千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	----------

(1) すぱーく福野の運営

高齢者の生きがいがいづくりと健康増進を図る場として、屋内ゲートボール場を管理運営する。

※福野ゲートボール協会へ管理運営業務を委託する。

(2) 利用促進のための取組み

各地区のゲートボール協会団体を通して利用を呼びかけるとともに、人工芝の全天候型2面コートの特長を生かして大会開催等の利用促進を図る。

4 介護保険等サービス部門

29 ホームヘルプ事業

予算額	4年度	15,088千円	3年度	14,367千円	増減	721千円
-----	-----	----------	-----	----------	----	-------

(1) 五箇山ホームヘルプステーションの運営

市指定管理施設として運営管理

期間：平成29年4月1日～令和6年3月31日（6/7年目）

【提供サービス】

①訪問介護

ホームヘルパーが居宅を訪問し、入浴、排泄、食事などの身体介護や調理、掃除、洗濯、買物などの生活援助を行う。

②介護予防・日常生活支援総合事業第1号訪問事業

利用者が自力で困難な行為について、ホームヘルパーによるサービスを提供する。

③障害福祉サービス

障害者の日常生活及び社会を総合的に支援する法律に基づき、居宅において日常生活を営むことができるよう身体介護や生活援助、相談及び助言を行う。

(2) 職員2名の人件費

30 デイサービスセンター運営事業

予算額	4年度	106,629千円	3年度	109,319千円	増減	△2,690千円
-----	-----	-----------	-----	-----------	----	----------

(1) 平、上平、利賀デイサービスセンターの運営

市指定管理施設として運営管理

期間：平成29年4月1日～令和6年3月31日（6/7年目）

【提供サービス】

①地域密着型通所介護

通所介護施設で、入浴、食事などの日常生活上の支援や生活行為向上のための支援を日帰りで行う。

②介護予防・日常生活支援総合事業第1号通所事業

通所介護施設で、日常生活上の支援などを行う共通のサービスと、生活機能向上活動の場を提供する。

③障害福祉サービス

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、日常生活上の世話や機能訓練、相談及び助言を行う。

【運営推進会議の開催】

事業所が利用者、利用者の家族、地域住民の方々に対して、提供しているサービス内容を明らかにすることを目的とし、各事業所が自ら設置する会議を6か月に1回以上、定期的に開催する。

(2) 職員17名の人件費

管理者3名、生活相談員3名、看護師2名、介護士・員5名、調理員3名、介護事務1名

31 生活支援ハウス運営事業

予算額	4年度	6,612千円	3年度	6,519千円	増減	93千円
-----	-----	---------	-----	---------	----	------

(1) 生活支援ハウスの運営

市指定管理施設として運営管理

期間：平成29年4月1日～令和6年3月31日（6/7年目）

施設管理及び居住者の状況把握を行う。

(2) 職員1名の人件費